

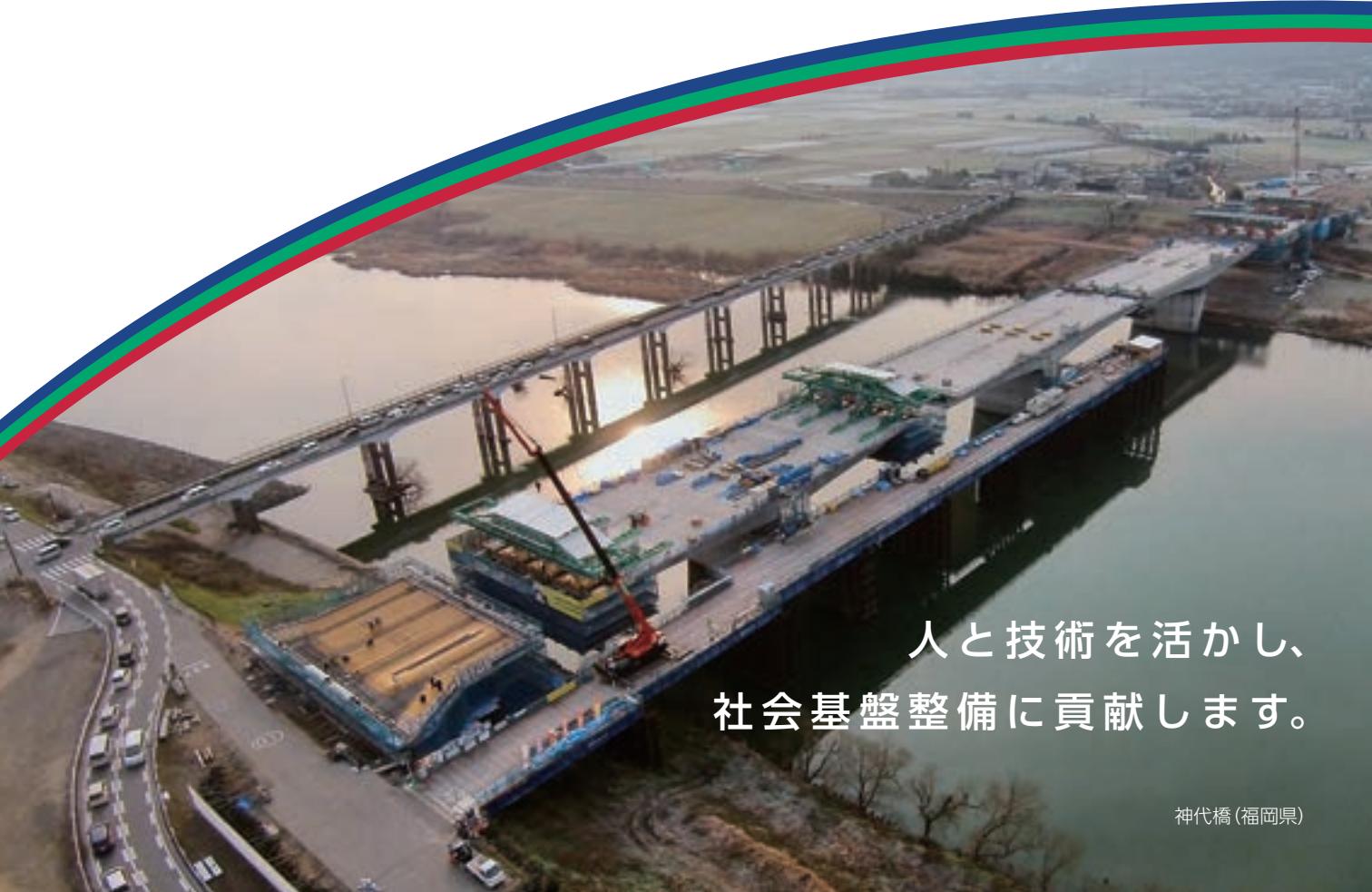


OSJBホールディングス株式会社

証券コード：5912

# 第2期 株主通信

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

An aerial photograph showing a large-scale construction project for a bridge or viaduct over a wide river. The structure is supported by numerous concrete piers. In the foreground, a large construction site is visible on the bridge deck, with various pieces of machinery, including a prominent red crane, and materials. The surrounding landscape includes fields and some buildings in the distance. A curved graphic element with blue, green, and red stripes arches over the top of the image.

人と技術を活かし、  
社会基盤整備に貢献します。

神代橋(福岡県)

## Our Business Field

# 私たちは、人と技術を活かし、 社会基盤整備に貢献します。

OSJBホールディングスが誇る専門性の高い4つのコア技術

コア技術  
1

### 橋梁新設のあらゆるニーズに対応 コンクリート製・鋼鉄製橋梁建設

橋梁は建設目的や利用環境、建設地の地形などを踏まえて最適な設計を行うため、使用材料の異なるいくつかの構造が存在します。OSJBグループはコンクリート製橋梁に強みを持つオリエンタル白石と鋼鉄製橋梁の建設を得意とする日本橋梁を傘下に擁し、それぞれの分野で長年にわたって磨き上げてきた卓越した独自技術を保有しています。これにより、コンクリート製、鋼鉄製だけでなく、ふたつの組み合わせが必要とされる複合型橋梁など、橋梁建設におけるあらゆるニーズに対応することが可能となっています。



コンクリート製橋梁



鋼鉄製橋梁



複合型橋梁

コア技術  
2

### 国内シェアNO.1 ニューマチックケーソン工法

ニューマチックケーソン工法は「潜函工法」とも呼ばれています。その名の通り、地上で構築したコンクリート構造物(函)を、地中を掘削しながら沈めていく工法で、長大橋梁の基礎やポンプ場など、数多くの地下施設に活用されています。OSJBグループはこのニューマチックケーソンを初めて日本に導入し、発展させてきたパイオニアであり、世界最高の技術と施工実績を誇っています。

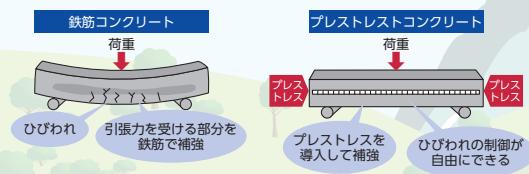


OSJBホールディングスグループは、人と技術を活かし、社会基盤整備を通じて、人々の夢と将来に貢献する企業グループであり続けるとともに、企業価値の最大化を図ってまいります。

ここでは、現場の匠たちが研鑽してきた専門性の高い4つのコア技術をご紹介します。

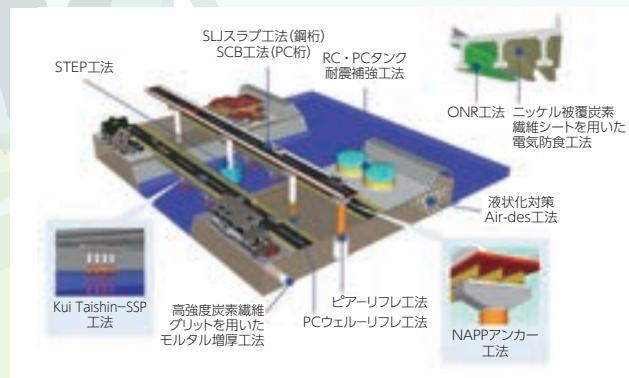
**コア技術 3** 高耐久部材PC 日本国内のパイオニア  
**プレストレストコンクリート工法**

プレストレストコンクリートとは、プレ=あらかじめ、ストレスト= 圧力を入れた、コンクリートのことで、強度が高く耐久性に富むことから、様々な構造物に利用されています。また地震にも強いことから、OSJBグループでは特に安全性が重視される橋梁や鉄道、上下水道の貯水槽、公共施設など大規模な建築物の建設に採用しています。OSJBグループは1952年にプレストレストコンクリート工法を国内に導入した業界屈指のリーディングカンパニーとして同工法による施工技術の高度化を牽引しています。



**コア技術 4** 特許取得技術115件 補修・補強もお任せ  
**自社開発による様々な独自工法**

OSJBグループは、橋梁や建築物の補修・補強分野において、SLJスラブ工法やSTEP工法など、様々な新技術・新工法を自社開発し、多数の特許を取得しています。日本ではいま、高度成長期につくられた橋梁が建設から50年を超過し、補修・補強工事の必要性が高まりつつあります。OSJBグループは高度な独自技術・工法を駆使して、拡大する補修・補強ニーズに的確に対応していきます。



## トップメッセージ



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第2期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）の事業の概況等についてご報告させていただきますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 井岡 隆雄

### 当期の事業概況

当期におけるわが国経済は、新興国経済の減速の影響などから輸出や生産面において弱さが見られますが、企業収益は高水準で推移しており、設備投資においては緩やかな増加基調にあります。雇用・所得環境は着実な改善を続けており、個人消費は一部に弱めの動きも見られますが総じて底堅い動きとなっています。中国を始めとする新興国や資源国に関する不透明感や年明け以降の金融市場における不安定な動きは見られますが、景気は

基調として緩やかな回復を続けております。

公共投資につきましては、国の一般会計予算において補正予算措置が講じられ、補正後の公共事業関係費は前年度を上回るものの、公共工事請負金額は前年比マイナスが続いており、高水準ながら緩やかな減少傾向にあります。

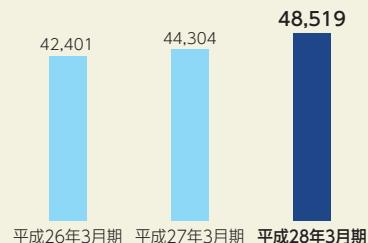
このような状況におきまして、当社グループ全体で受注活動に取り組んだ結果、当期の受注高は、452億7千1百万円（前期比0.5%減）となりました。各セグメント毎では、建設事業はニューマチックケーソン工事、プレスト

### 経営理念

人と技術を活かし、  
社会基盤整備に貢献します。

### 売上高（単位：百万円）

連結決算ハイライト



レストコンクリートの新設橋梁工事、橋梁の補修補強工事、一般土木工事、プレストレストコンクリートを用いた建築工事、それぞれの分野においてバランスよく受注を獲得することができました。鋼構造物事業においては大型物件の受注を獲得し大きな伸びとなりました。

当期の主要な受注は、以下のとおりであります。

### 建設事業

- **ニューマチックケーソン工事**  
中日本高速道路株式会社  
「東京外かく環状道路 中央ジャンクション南側ランプシールドトンネル立坑工事」
- **プレストレストコンクリートの新設橋梁工事**  
西日本高速道路株式会社  
「高松自動車道 宮池橋他2橋(PC上部工)工事」
- **橋梁の補修補強工事**  
西日本高速道路株式会社  
「中国自動車道(特定更新等)市川橋(上り線)他7橋床版取替工事」
- **一般土木工事**  
首都高速道路株式会社  
「高速横浜環状北西線港北地区下部・基礎工事」

### 鋼構造物事業

- **鋼構造の新設橋梁工事**  
国土交通省九州地方整備局  
「福岡208号 早津江川橋上部工(P3-A2)工事」

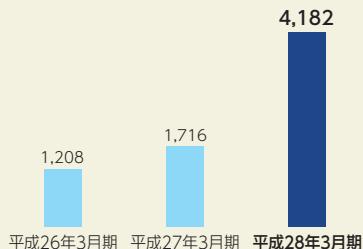
売上につきましては、大きな工程の遅れもなく進捗が順調に推移したこと、設計変更による追加受注の獲得などにより、売上高は485億1千9百万円(前期比9.5%増)となりました。また、受注残高につきましては、上記の受注および売上の状況により、401億2千5百万円(前期比7.5%減)となりました。

損益面では、建設事業の大型工事において利益率の好転や設計変更による追加受注などにより、売上総利益は77億7千2百万円(前期比57.6%増)、営業利益は41億6千8百万円(前期比148.3%増)、経常利益は41億8千2百万円(前期比143.6%増)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は33億5千万円(前期比178.0%増)となりました。

営業利益 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益(単位:百万円)



# トップメッセージ

## セグメント別概況

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

### 建設事業

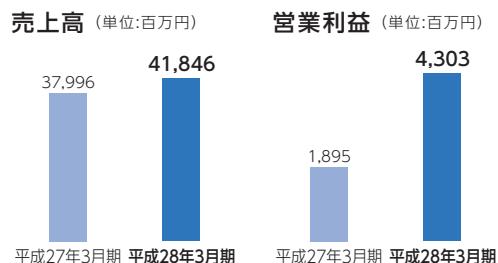


オピラシケ川橋

売上高 **41,846**百万円

当セグメントの売上高は418億4千6百万円(前期比10.1%増)、セグメント利益(営業利益)は43億3百万円(前期比127.1%増)となりました。

営業利益 **4,303**百万円



### 鋼構造物事業

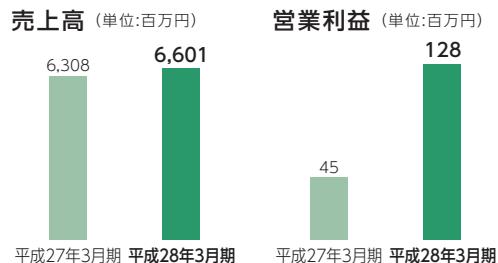


竜の口橋りょう

売上高 **6,601**百万円

当セグメントは、主に鋼構造の新設橋梁工事であり、売上高は66億1百万円(前期比4.6%増)、セグメント利益(営業利益)は1億2千8百万円(前期比181.1%増)となりました。

営業利益 **128**百万円



### その他

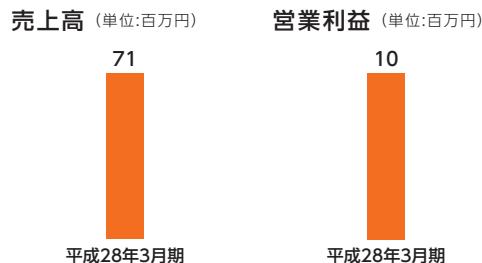


西脇太陽光発電所

売上高 **71**百万円

当連結会計年度より太陽光発電による売電事業を開始しております。売上高は7千1百万円、セグメント利益(営業利益)は1千万円となりました。

営業利益 **10**百万円



## 次期の見通し

公共投資関連の市場におきましては、災害対策関連事業、東京オリンピック開催に向けて見込まれる公共投資に加え、全国的な高速道路の大規模更新事業やリニア中央新幹線等の大型工事の展開を踏まえ、当面の建設需要は底堅く推移する見通しです。一方、慢性的な技能労働者の需給逼迫や、材料費労務費等の建設コストの高騰は工事進捗や採算に大きく影響を与える可能性があり、また企業間の受注獲得競争も引続き厳しい状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは受注量確保と事業採算性向上のバランスを重要視し、高い技術力に裏付けられた競争優位性を持つプレストレストコンクリート工法、ニューマチックケーソン工法、構

造物の補修補強に係る特殊工法などに経営資源を集中させて経営基盤の強化を図ってまいります。

当該状況を勘案し、次期の通期連結業績予想は、売上高490億円、営業利益26億円、経常利益26億円、親会社株主に帰属する当期純利益18億円としております。

なお、業績予想につきましては、現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

	平成28年3月期(実績)	前期比	平成29年3月期(予想)	前期比
売上高	48,519百万円	9.5% 増 ▲	49,000百万円	1.0% 増 ▲
営業利益	4,168百万円	148.3% 増 ▲	2,600百万円	37.6% 減 ▼
経常利益	4,182百万円	143.6% 増 ▲	2,600百万円	37.8% 減 ▼
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,350百万円	178.0% 増 ▲	1,800百万円	46.3% 減 ▼
1株当たり当期純利益	27.40円	—	14.72円	—
1株当たり配当金	6.00円	—	5.00円	—



# 独自の工法と 特化技術で 社会基盤を創造する



## 現場紹介 犬飼大橋

本工事を含む相馬福島道路は、常磐自動車道と東北縦貫自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路(無料)であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられています。本道路は復興支援道路として緊急整備が実施されており、犬飼大橋が位置する霊山IC(仮称)～阿武隈IC(仮称)間の12kmは平成29年度の開通を目標に工事が進められています。

犬飼大橋は1本の橋脚からヤジロベイのように1ブロックずつ腕を伸ばしていくPC2径間連続Tラーメン箱桁橋ですが、張出すブロック数が25ブロックと非常に多いことが特徴です。



張出施工開始



張出施工終盤



張出施工終了・移動作業車解体

契約工事名称	国道115号 犬飼大橋上部工事
発注者名	国土交通省 東北地方整備局 道路部
工事場所	福島県伊達市月舘町布川
工期	平成26年9月5日～平成28年3月28日
工事概要	PC2径間連続Tラーメン箱桁橋 橋長:173.0m 幅員:12.790m

大いなる大地を舞台に展開する、土木や建築などのオリエンタル白石の事業。橋梁・容器・モノレール・建築・物流ネットワークなど、人々の暮らしを守る社会資本の建設は、培われた多彩な技術の数々が息づいています。先を見つめる眼差しと、最新技術に挑むチャレンジ精神。オリエンタル白石の技術は、自然と共存する豊かな環境づくりをめざしています。

#### 会社概要 (平成28年3月31日現在)

商 号	オリエンタル白石株式会社
創 設	昭和27年(1952年)10月21日
資 本	5億円
従 業 員	648名
事 業 内 容	プレストレストコンクリートの建設工事、および製造販売、ニューマチックケーソンの建設工事、補修補強の建設工事、耐震補強建築工事の設計・施工、建設資材の販売、太陽光による発電事業およびその管理・運営ならびに電気の供給、販売
所 在 地	東京都江東区豊洲五丁目6番52号
U R L	<a href="http://www.orsc.co.jp/">http://www.orsc.co.jp/</a>
代 表 者	代表取締役社長 井岡 隆雄

### 現場紹介 藤井寺長吉バイパスシールド工事

本工事は、既設水道管のバックアップ機能、耐震性能、災害時の応急給水を目的として、藤井寺ポンプ場から泉北浄水池までの約21kmのうち、約3.3kmのバイパス送水管整備を行うものです。送水管は、泥土圧式シールド工にて一次覆工を施工し、二次覆工として鑄鉄管φ2,000mmを布設します。

シールド工は、泥土圧式シールド機(外径φ3,040mm)にて、一次覆工(鋼製セグメント外径2,900mm)を土被りGL-20~34m、掘進距離約3,300mを中間立坑無しの掘削ビット無交換にて掘進します。泥土圧式シールドの3,300mビット無交換掘進は前例が無く、機械計画・選定には苦勞しました。一次覆工完了後、二次覆工としてセグメント内に鑄鉄管φ2,000mmを同距離布設します。当工事はシールド工が目立ちますが、請負半分は他工種になります。他工種は多種多様にわたり、建築構造物も含まれ、他企業協議・沿道調整も多い都市土木工事になります。現在昼夜体制でシールド工を施工するとともに、推進工施工範囲も施工中です。



藤井寺ポンプ場全景



発進立坑



立坑内部



発進坑口



シールド坑内

契約工事名称	送水管布設工事(藤井寺長吉バイパス送水管・藤井寺市ほか)
発注者名	大阪広域水道企業団
工事場所	大阪府藤井寺市川北一丁目~大阪市平野区長吉川辺三丁目地内
工期	平成26年3月24日~平成30年2月28日
工事概要	工事延長L=3,595.0m 管布設工 鑄鉄管φ2,000mm(据付) L=3,406.8m 鋼管φ2,000mm(据付) L=266.1mシールド工(泥土圧式)セグメント(鋼製)内径φ2,694mm L=3,313.91m 弁室築造工 1式、推進工(推進管内径φ2,200mm) L=82.09m、開削工 L=168.49m上屋建築工 1式、排水管布設工 1式、付帯工 1式



## 日本橋梁株式会社

### 常に新しい技術と品質の向上に貢献



ホームページのご案内

<http://www.nihon-kyoryo.co.jp/>

#### 会社概要 (平成28年3月31日現在)

商号	日本橋梁株式会社
創業	大正8年(1919年)7月7日
資本金	4,000万円
従業員数	118名
事業内容	橋梁等の鋼構造物の設計・製作・架設工事
所在地	大阪府大阪市西区 江戸堀一丁目9番1号
代表者	代表取締役社長 坂下 清信

#### 現場紹介 中部横断宮原跨線橋上部工事

本工事は、中部横断自動車道新設にあたり西八代郡市川三郷町宮原地先において、JR身延線を跨ぐ宮原跨線橋を製作・施工する工事です。

中部横断自動車は静岡県静岡市清水区の新清水JCTから長野県小諸市の佐久小諸JCTに至る総延長約132kmの高速道路(高速自動車国道)で、上信越自動車道と接続し太平洋側(静岡県静岡市)と日本海側(新潟県上越市)を結ぶ路線と位置づけられています。

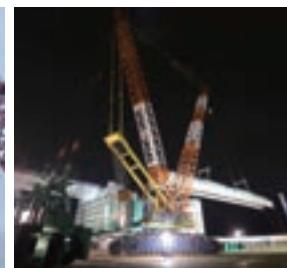
契約工事名称	中部横断宮原跨線橋上部工事
発注者名	国土交通省 関東地方整備局
工事場所	山梨県西八代郡市川三郷町宮原地先
工期	平成26年10月24日～平成28年8月31日
工事概要	鋼3径間連続非合成4主鈹桁橋 橋長：126.0m 支間長：33.5+57.0+33.5m 幅員：12.406～19.212m 鋼重：525.8トン 架設工法：トラッククレーンベント工法



架設完了



架設状況



夜間架設状況



## 外部表彰

OSJBグループ各社が携わった工事に対し、  
発注者や各種団体からいただいた表彰実績の一部をご紹介します。

オリエンタル白石株式会社

### 「平成25年度41号水無橋PC橋梁修繕工事」が中部地方整備局長表彰

国道41号は名古屋市～富山市を結ぶ一般国道です。高山市一之宮町において、老朽化した「水無橋」の架け替え工事を行いました。

このたび、国土交通省中部地方整備局より「優良工事局長表彰」および「優良技術者局長表彰」をいただきました。また、高山国道事務所からも「社会貢献事務所長表彰」をいただきました。



上：表彰状  
左：修繕後の水無橋

オリエンタル白石株式会社

### 「中央自動車道上長房橋補強工事」がPC工学会賞を受賞

中央自動車道(上り線)の八王子JCT～相模湖IC間に位置する上長房橋の床版取替および上面増厚工事を実施しました。床版取替は、車線規制および短期間での取替となることから、現場での施工性に優れたSLJスラブを採用。また、上面増厚は、一般的に用いられている鋼繊維補強超速硬コンクリート(SFRC)にて施工を行いました。

このたび、プレレストコンクリート工学会よりPC工学会賞(施工技術部門)を受賞いたしました。



上：表彰状  
左：床版取替中の上長房橋

日本橋梁株式会社

### 仙台市地下鉄東西線の建設で仙台市長から感謝状を授与

仙台市地下鉄東西線は、仙台市太白区から同市若林区を結ぶ地下鉄路線で、仙台駅で南北線やJR東日本各線と乗り換えできるようになっています。

当社は、仙台市の広瀬川に架かる「竜の口橋りょう」を施工し、平成26年4月に完成させています。

このたび、仙台市長より、地下鉄の建設に多大な貢献をしたということで感謝状をいただきました。

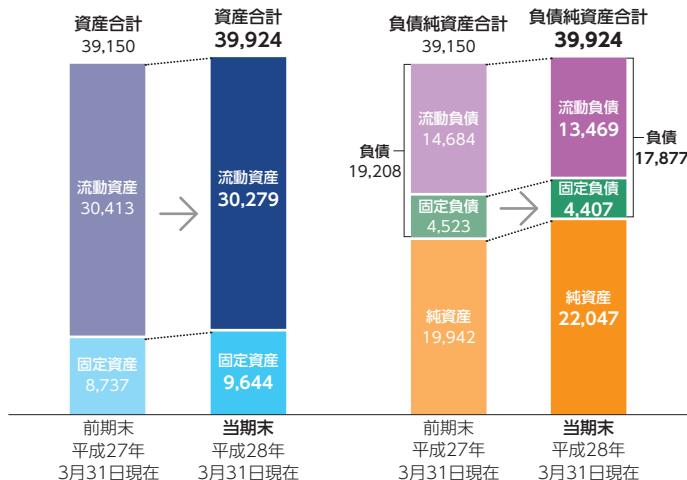


上：感謝状  
左：竜の口橋りょう

# 連結財務諸表

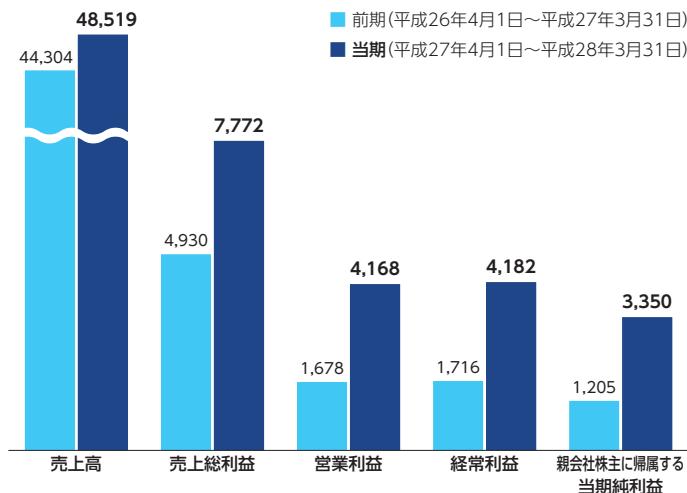
## 連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



## 連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



### POINT 1 流動資産

流動資産は前期末に比べ0.4%減少し302億7千9百万円となりました。これは主に設備投資等により現金及び預金が30億2千8百万円減少したこと及び受取手形・完成工事未収入金が19億2千6百万円、立替金が8億9千6百万円増加したことなどによるものです。

### POINT 2 固定資産

固定資産は前期末に比べ10.4%増加し96億4千4百万円となりました。これは主に建設事業における工事機器の新規導入により機械及び装置(純額)が5億2千9百万円増加したこと及び投資有価証券が5億6千5百万円増加したことなどによるものです。

### POINT 3 流動負債

流動負債は前期末に比べ8.3%減少し134億6千9百万円となりました。これは、主に未成工事受入金が4億8千8百万円減少したこと及び未払金が4億8千4百万円減少したことなどによるものです。

### POINT 4 固定負債

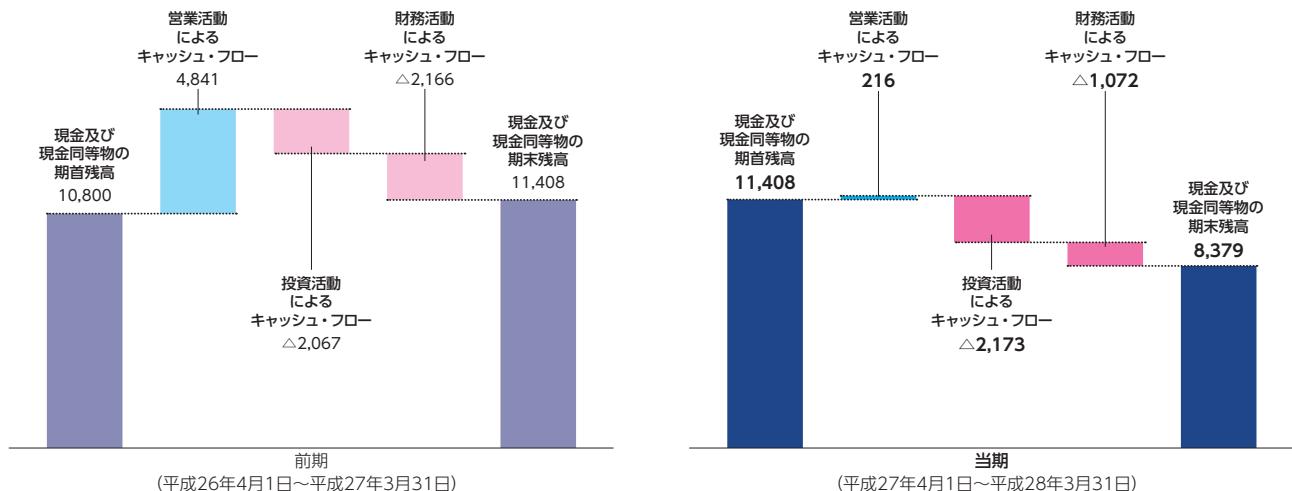
固定負債は前期末に比べ2.6%減少し44億7百万円となりました。これは主に退職給付に係る負債が1億1百万円減少したことなどによるものです。

### POINT 5 純資産

純資産は前期末に比べ10.6%増加し220億4千7百万円となり、自己資本比率は55.2%となりました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



### POINT 6 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は2億1千6百万円(前期比95.5%減)となりました。これは主に税金等調整前当期純利益41億2千3百万円がありましたが、売上債権の増加24億1千5百万円及び立替金の増加8億9千6百万円によるものです。

### POINT 7 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は21億7千3百万円(前期比5.1%増)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出15億2千2百万円及び投資有価証券の取得による支出5億7千6百万円によるものです。

### POINT 8 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は10億7千2百万円(前期比50.5%減)となりました。これは主に配当金の支払額4億8千9百万円及び自己株式の取得による支出3億2百万円によるものです。

## 利益配分に関する基本方針および当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への安定した利益還元を経営における最重要課題のひとつと考え、安定した利益配当を継続して実施することを基本方針としております。当期業績等を総合的に勘案した結果、直近の配当予想の普通配当1株当たり5円に、計画を上回る利益が確保できたことによる特別配当1円を加えた、6円とさせていただきます。次期につきましても、基本方針に従い当期と同額の5円を予定し、可能な限り株主の皆様への利益還元に努めてまいります。

### 1株当たり配当金 (単位:円) / 配当性向 (単位:%)



# 株主アンケート結果

平成27年12月実施の「中間株主通信」に同封いたしました「株主アンケート」におきましては、数多くの株主様よりご回答を頂戴いたしました。ご回答いただきました株主の皆様におかれましては、お忙しい中ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

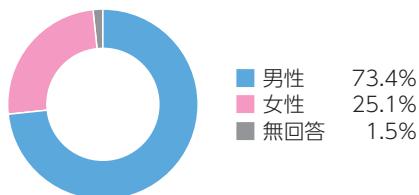
なお、頂戴いたしました株主様からの貴重なご意見・ご要望等につきましては、今後の経営やIR活動等の参考にさせていただきます。

以下に、今回の「株主アンケート」の結果(概要)についてご報告させていただきます。

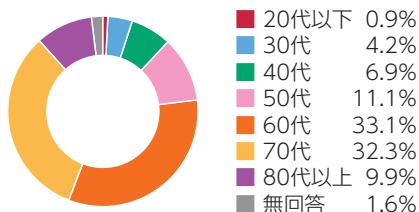
## 「株主アンケート」概要

アンケート方法	「中間株主通信」にアンケートはがきを同封して実施
アンケート対象者	平成27年9月30日時点 株主名簿記載の株主様
アンケート対象人数	32,209名
アンケートご回答数	5,433名
アンケートご回答率	16.9%

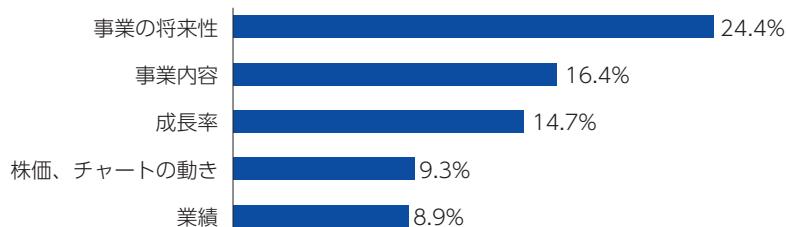
## ご回答いただきました株主様の性別



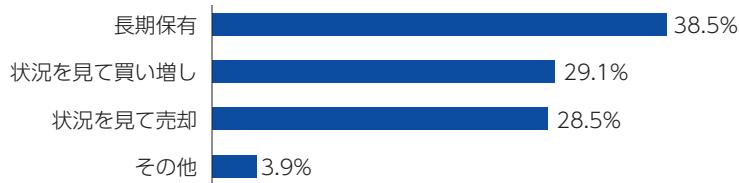
## ご回答いただきました株主様の年代



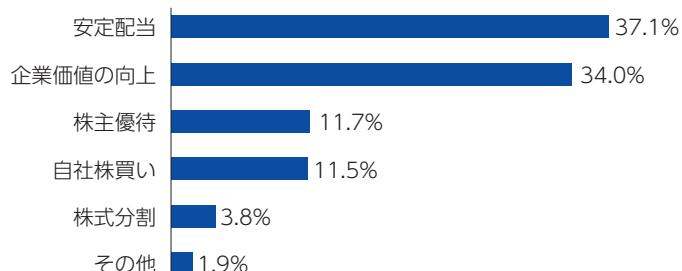
## Q 当社株式を購入された際、重視されたポイントをお選びください。(複数回答)(上位5位)



## Q 今後の当社株式に関して、あなたのお考えにちかいものをお選びください。



## Q 今後、株主還元として、当社に最も期待することは何ですか?(複数回答)



# 企業情報 (平成28年3月31日現在)

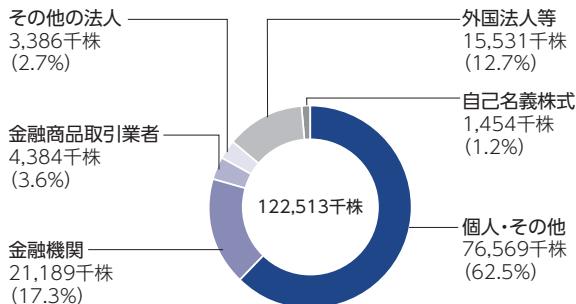
## 会社概要

商号	OSJBホールディングス株式会社
	 OSJBホールディングス株式会社
創業	平成26年(2014年)4月1日
資本金	10億円
従業員数	(連結)816名
事業内容	グループ企業の経営計画ならびに管理
所在地	東京都江東区豊洲五丁目6番52号
URL	<a href="http://www.osjb.co.jp/">http://www.osjb.co.jp/</a>
上場証券取引所	東証 市場第一部
主要取引銀行	株式会社三菱東京UFJ銀行

## 株式の状況

発行可能株式総数	138,809,400 株
発行済株式の総数	122,513,391 株
株主数	29,316 名

## 所有者別状況



## 取締役および監査役 (平成28年6月29日現在)

代表取締役社長	井岡 隆雄
取締役	高井 繁
取締役	坂下 清信
取締役	橋本 幸彦
社外取締役	土橋 昭夫
社外取締役	住江 清
社外取締役	大即 信明
常勤監査役	久米 清忠
社外監査役	平井 利明
社外監査役	桃崎 有治
社外監査役	小林 弘幸

## 大株主

株主名	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	9,092千株	7.51%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,739千株	3.91%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,833千株	2.34%
MSCO CUSTOMER SECURITIES	1,627千株	1.34%
DEUTSCHE BANK AG LONDON - PB NON-TREATY CLIENTS 613	1,388千株	1.14%
BNY FOR GCM CLIENT ACCOUNTS (E) BD	1,041千株	0.86%
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB)	1,016千株	0.83%
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	933千株	0.77%
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	927千株	0.76%
JP MORGAN CHASE BANK 385151	846千株	0.69%

(注) 持株比率は、発行済株式総数から自己株式を控除した株式数を分母に用いて算出しております。

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年  
 基準日 定時株主総会 3月31日  
 その他必要があるときは、取締役会で決議し、あらかじめ公告する一定の日  
 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日

公告方法 当会社の公告方法は、電子公告とする。  
 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告は、日本経済新聞に掲載して行う。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 (同連絡先) 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 0120-232-711

## 単元未満株式の買取制度について

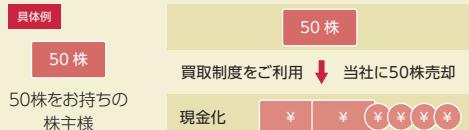
当社では証券市場で株式を売買できる取引単位(単元株式)を100株とさせていただいており、単元未満株式(1~99株の株式)については、証券市場においては売買することができません。

そのため、ご所有の単元未満株式を当社が買い取らせていただく制度(単元未満株式の買取請求)がございます。

単元未満株式の買取請求に関するお手続きの詳細については、お取引先の証券会社等(口座管理機関)にお問い合わせのうえ、お手続きください。また、特別口座に記録されている単元未満株式の買取請求をされる場合は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせのうえ、お手続きください。

### 単元未満株式の買取制度を利用

単元未満株式を当社に対して市場価格で売却する制度です。



IRカレンダー	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
決算発表	■ 期末決算発表			■ 第1四半期決算発表			■ 第2四半期決算発表			■ 第3四半期決算発表		
株主総会	■ 招集通知発送			■ 定時株主総会開催								
配当金							■ 中間配当株主確定			■ 期末配当株主確定		
有価証券報告書 四半期報告書	■ 有価証券報告書発行			■ 第1四半期報告書発行			■ 第2四半期報告書発行			■ 第3四半期報告書発行		
株主向け報告書	■ 株主通信発送						■ 中間株主通信発送					



〒135-0061 東京都江東区豊洲五丁目6番52号(NBF 豊洲チャンネルフロント)  
 TEL.03-6220-0601 FAX.03-6220-0602 URL.http://www.osjb.co.jp/



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。  
 この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。